

輸送動向について（平成28年度上半期）

平成28年10月

1. 輸送概況

上半期は、4月中旬の熊本地震、6月下旬の鹿児島線・山陽線大雨、更には8月中旬以降の相次ぐ台風の接近・上陸等の影響を受け、特に8月下旬から9月上旬にかけての台風10号は北海道地区に甚大な被害をもたらし、全体では高速貨969本、専貨12本が運休した（前年同期間は高速貨715本、専貨11本が運休）。

コンテナは、トラックドライバー不足により鉄道へのシフトが続いている清涼飲料水を中心とした食料工業品及び積合せ貨物が好調となった他、化学工業品、エコ関連物資が前年を上回った。

一方、農産品・青果物が九州地区での玉葱の生育不良に加えて、北海道地区での台風10号等自然災害の影響により馬鈴薯・野菜類が大幅な減送となった。また、新聞紙・コート紙の需要の落ち込みにより低調な紙・パルプが前年を下回ったほか、自動車部品が熊本地震による現地工場被災に伴い発送減となり、結果としてコンテナ全体では前年比98.9%となった。

車扱は、セメント・石灰石が好調に推移し、車扱全体では前年比102.2%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.7%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,572	10,693	98.9%
車扱	3,910	3,827	102.2%
合計	14,481	14,520	99.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	826	904	-78	91.3%
	化学工業品	1,030	1,023	7	100.7%
	化学薬品	694	702	-7	99.0%
	食料工業品	1,896	1,848	48	102.6%
	紙・パルプ	1,534	1,583	-48	96.9%
	他工業品	727	754	-27	96.5%
	積合せ貨物	1,300	1,284	16	101.2%
	自動車部品	334	340	-6	98.1%
	家電・情報機器	217	222	-4	98.0%
	エコ関連物資	222	216	6	102.8%
	その他	1,792	1,819	-28	98.5%
	コンテナ計	10,572	10,693	-122	98.9%
車扱	石油	2,498	2,501	-3	99.9%
	セメント・石灰石	697	632	65	110.3%
	車両	405	384	21	105.4%
	その他	310	311	-1	99.8%
	車扱計	3,910	3,827	83	102.2%
合計	合計	14,481	14,520	-39	99.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)